

南知多

ニートが養護施設訪問



幼児の笑顔に「元気ももらった」

ニートが合宿をしながら就労訓練する南知多町内海の若者自立塾「南セントレア キャリア・ビレッジ」の塾生ら七人が二十一日夜、名古屋市中山区の児童養護施設「和進館児童ホーム」を訪問し、施設で暮らす幼児十人と交流した。

(長田真由美)

自立塾では今夏、就労意欲の向上につなげようと、南知多町の内海海水浴場で海の家を運営。その時に得た利益を何かに役立てることはできないかと検討し、施設の訪問を決めた。

一緒に花火楽しみ 注意点など教える

名古屋

自立塾を運営する特定非営利活動法人(NPO法人)「ICDS」の杉浦陽之助理事長は「親の保護のもとで生活しているニート状態の塾生たちが、自分たちとは対照的に養護施設で生活せざるを得ない子どもたちと対面し、何かを感じてくれれば」と話している。

花火を楽しむ塾生と子どもたち。名古屋市中山区の和進館児童ホームで

て、全員で花火を楽しんだ。

取初はどのように接したらよいか戸惑い気味だった塾生も、幼児の手を取って花火に火をつけたり、人に向けて花火をしないように呼び掛けたりした。取り巻く環境の厳しきにもかかわらず子どもたちからこぼれる明るい笑顔に、塾生は「元気をもらった」と話し